

令和5年9月15日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

## 日独共同グリーン水素マテリアルラボの オープニングセレモニー開催について

この度、山梨大学とブラウンシュヴァイク工科大学（ドイツ）で、日独共同グリーン水素マテリアルラボを設置します。

本学は、令和4年度に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の戦略的国際共同研究プログラム EIG CONCERT-Japan の国際研究事業に採択となり、欧州と本学の最先端の技術を融合させ、手ごろでクリーンなエネルギー源としての持続可能な水素技術の開発を目指してきました。この研究活動を更に加速・発展させるため、この度、本学の水素・燃料電池ナノ材料研究センター内に「日独共同グリーン水素マテリアルラボ」を設置することとなりました。

ブラウンシュヴァイク工科大学は、原子スケールでの電極触媒設計や解析において国際トップレベルにあり、これまでも本学と緊密な研究連携関係を築いてきたことから、互いの産学官連携ネットワークを活用し、国際的な研究連携や人的交流、社会実装を拡大させます。

つきましては、取材および貴報道枠でのご紹介をよろしくお願い致します。

### 記

日時：令和5年9月20日（水）14：30～17：30

場所：ベルクラシック甲府

主催：（独）ブラウンシュヴァイク工科大学、山梨大学

協賛：ドイツ連邦教育研究省（BMBF）、ドイツ 科学・イノベーション フォーラム（DWIH Tokyo）、ニーダーザクセン州エネルギー研究センター（EFZN）、文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

次第：別紙参照

#### 【取材について】

- ・取材を希望される場合は、開始時間の15分までに直接会場へお越しください。
- ・本セレモニーは、概ね英語で行われますので、ご了承願います。
- ・質問等ある場合には、15時45分「休憩・コーヒープレーク」時に本学教員が対応させていただきます。

#### <研究についての問い合わせ先>

山梨大学研究推進部研究推進課  
水素・燃料電池研究拠点支援室  
TEL：055-254-7092  
E-mail：fchnano-as@yamanashi.ac.jp

#### <広報についての問い合わせ先>

山梨大学総務企画部総務課広報企画室  
TEL：055-220-8005, 8006 FAX：055-220-8799  
E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

# 日独共同グリーン水素マテリアルラボ オープニングセレモニー

2023年9月20日(水) バルクラシック甲府(400-0031 山梨県甲府市丸の内1丁目1-17)

| 時間    | プログラム   | 講演者   |
|-------|---|---|
| 14:30 | プロジェクト代表者による歓迎の挨拶                                       | Mehtap Özasan(独ブラウンシュヴァイク工科大学), 柿沼克良(山梨大学), 犬飼潤治(山梨大学), Frédéric Hasché(独ブラウンシュヴァイク工科大学)                            |
|       | 日独代表による挨拶<br>ドイツ側(ドイツ大使館、ドイツ連邦教育研究省)<br>日本側(文部科学省、山梨大学) | アンナ・ヴァルブレヒト ドイツ大使館 経済副部長<br>中谷真一 衆議院議員<br>ドイツ連邦教育研究省(ビデオメッセージ)<br>大土井智 文部科学省 科学技術・学術政策局 参事官(国際戦略担当)<br>中村和彦 山梨大学 学長 |
|       | 基調講演<br>日独共同グリーン水素マテリアルラボ<br>「グリーン水素の未来に向けたマテリアル研究」     | 柿沼克良<br>Mehtap Özasan   |
|       | 特別講演<br>「グリーン化(GX)開始!<br>山梨県水素エネルギー社会の構築」               | 坂本正樹(やまなしハイドロジェンカンパニー)  |
|       | 特別講演<br>『デモンストレーション施設としての<br>「ブラウンシュヴァイク水素ターミナル」』       | David Sauss(独 SIZ energie <sup>+</sup> )  |
|       | 特別講演<br>「脱炭素社会に向けたパナソニック社の<br>燃料電池アクティビティ」              | 新谷晴彦(パナソニック、グローバル環境事業開発センター)  |
| 15:45 | 休憩・コーヒブレイク  |   |
| 16:00 | 日独共同グリーン水素マテリアルラボ 開会式                                   | Mehtap Özasan, 柿沼克良, 犬飼潤治, Frédéric Hasché  |
|       | 日独共同グリーン水素マテリアルラボにおける<br>研究推進体験                         | Sonja Blaseio(独ブラウンシュヴァイク工科大学<br>院学生博士課程)   |
|       | 招待講演<br>「触媒開発研究における機械学習」                                | Matthias Arenz(瑞ベルン大学)  |
| 17:00 | 参加者による写真撮影  |   |
| 17:30 | 意見交換会・レセプション  |   |

## 日独共同グリーン水素マテリアルラボ

ブラウンシュヴァイク工科大学電極触媒技術研究室と、山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターおよびクリーンエネルギー研究センターは、信頼関係に基づいた、実りある長期的な協力関係の基盤構築を目的としてこのコンソーシアムを設立しました。両機関・両国の間で、目に見える形での実質的な国際共同研究体制を確立し、維持することを目指します。日独共同ラボでは、電極触媒材料の効率と耐久性を向上させるための材料イノベーションのプラットフォーム、さらに学界と産業界とによる発展的プロジェクトのインキュベーターを構築することに合意しました。私たちのコンソーシアムは、2022年2月から5年間、ドイツ連邦教育研究省(BMBF)から資金援助(資金コードは01DR21028)を受けています。日独共同グリーン水素マテリアルラボはSDGsを支援します。

